

ピア ネット monthly Aug-Sep 2013



★ピア・ネット・マンスリーの発行について

ピア・ネット・マンスリーは、ピア・ネットで活躍する各部局の学生スタッフ活動の一部をトピックスとして紹介するものです。ピア・ネットの活動を学生と教職員に広く知ってもらうことを目的に、月1回の割合で発行していきます。

《ピア・ネット事務局》

★遠野被災地支援ボランティア（15～18次隊）を実施しました。

8月26日（月）～9月5日（木）の期間、市ヶ谷ボランティアセンター・チームオレンジは、岩手県遠野市をベースとし、主に陸前高田市で被災地支援ボランティアを実施。一般学生を含む47名が参加しました。今回の派遣で、15～18次の派遣となります。

活動内容は、コミュニティタウン「再生の里ヤルキタウン」内の花壇整備やお祭りのお手伝い、仮設住宅での被災者の方々との交流、農業支援等を行ってきました。また、被災者の方々との交流の前には、研修も兼ね、被災地の見学も実施しました。

以下は、参加学生の感想です。



多くの活動をさせて頂いたヤルキタウン



各隊で活動をふりかえり、模造紙にまとめました

「友人の誘いという軽いきっかけで参加した考えの甘さから、想像と実際の状況の差に驚きが隠せませんでした。ボロボロの建物と、多くの作業員の方が今も懸命に復興活動をしている光景が、頭から離れません。大きなことはできないと思っていますが、少しでも多くのことを考え、行動に移し、周りの人たちに伝えることができたらと思います。」

（15次隊・3年女子）

「今日聞いたお話によると、被災地は、ガレキこそ片付いたものの、新しい住宅を建てる段階が全く進んでいない。復興にスピード感がなく、希望を失い始めた人も多くなっているとのことだった。確かに今までこれほどの規模の津波被害にあったことはなく、マニュアルがないのも事実だが、今こそ行政が本気を出した、住民の意見をしっかりと聞き、復興を進めていくべきだと思う。そして行政が補いきれない、被災者の心の復興を、私達ボランティア等を通じて少しでも助けられたらと思う。」

（18次隊・2年男子）



ヤルキタウン駐車場での水路作り

● 課外教養プログラム（学生センター）

「私が教えます!」、はじめました。

法政大学には、本当にさまざまな学生がいます。特技、スキルをもった学生、何かに一生懸命取り組む学生、外部で表彰を受けた学生。しかし、そんなみなさんの「良さ」を、大学は全て把握しているわけではありません。学生センターの「私が教えます!」は、自身の取り組み、特技、資格、活動を通じての成長、失敗談などを紹介したいという学生のエントリーシステムです。だから、自然とみなさんの「良さ」が集まってきます。自身の経験を自らにとどめることなく、他の学生に惜しみなく伝え、役立ててもらおう。エントリーする学生は「知をまこう」という、ピア・サポートスタイルに共感してくれたみなさんです。

教えます!というエントリーは、聞きたい!という学生のニーズによって実現します。5月下旬のキックオフから1クールが終わり、投票を経て8つのプログラムが実現しています。



「日経 STOCK リーグ」の入賞ノウハウ、
私たちが教えます!



📖 図書館

2013 年度第 1 回ライブラリーサポーター懇談会を実施しました（小金井）

7月10日（水）に小金井図書館ライブラリーサポーター懇談会を実施しました。今年度の小金井図書館ライブラリーサポーターは6名での活動となります。第1回懇談会には、5名の方に参加していただき、自己紹介や図書館への意見・要望を挙げていただきました。

秋には、サポーターの皆さんによる「選書ツアー」も企画しております。今後も活動の様子をHP等でご紹介させていただきます。

📚 学習ステーション

2013 年度 秋学期 学生アシスタント研修・「恩師に会おう」プロジェクトメンバー研修

8月5日（月）12:30~16:00 BT0900・0610 教室にて秋学期の学生アシスタント研修が開催されました。今回の研修は、LSTE PBL「学生の力を活かした高大連携プロジェクト『恩師に会おう』プロジェクト」のメンバーの研修と同じ会場で開催されました。新規アシスタントにとってはサポートの基礎となり、プロジェクトメンバーにとっても身に付けるべき大きな要素である「コミュニケーション力」に注目し、まずは「コミュニケーション講座」の受講から開始しました。

講師は春学期の研修で大好評だった国際文化学部の中澤史准教授が担当しました。コミュニケーションの基本の説明から始まり、「自分が他者にどのように見られているか」について楽しく学びました。

第2部では、継続スタッフも加わり、秋学期から始まる新しいプロジェクトについてのグループワークを実施しました。

学習ステーションでは、学内各部局における情報の共有化と共通ツールの構築を目指し、今後も他部局との連携を図りながら、学生スタッフの能力向上のための研修の機会を増やして行きたいと考えています。



◆ 編集後記 ◆

法大生の声や実態を把握し大学運営に役立てるために、学内のいろいろな部局でアンケートやモニターなどの取り組みを実施しています。今回ご案内したライブラリーサポーターの懇談会や選書ツアーもその一つです。ときには耳の痛い意見もありますが、大学のサービス向上に役立てていきたいと考えていますので、今後も率直なご意見をお寄せください。ピア・ネット・マンスリーについてのご感想もお待ちしております。